

No.	意見提出者	意見対象	意見	意見に対する考え方	提出意見を踏まえた案の修正の有無
第3章 重点的取組 V V2Xの検討推進 に関する意見					
賛同のご意見					
108	(株)NTTドコモ	第3章 重点的取組 V V2Xの検討推進	ITS用周波数として、国際的に調和の取れた周波数帯(5.9GHz帯)において、既存無線システムとの周波数共用等の技術的条件の検討が令和4年度に開始されること、また、その検討結果を踏まえ、令和5年度中をめどにV2X用通信への周波数割当てを行うとする原案の具体的な取組について賛同します。また、V2Xの利用周波数については、グローバルハーモナイズに向けた世界の動向と国内における他帯域を含めた周波数有効利用の観点から、総合的な検討が進められることを希望します。	頂いたご意見については、本案への賛同意見として承ります。	無
109	(株)JTOWER	第3章 重点的取組 V V2Xの検討推進	5.9GHz帯において、V2X向けに割当ての検討を令和4年度に開始することに賛同します。令和4年度に開始される検討においては、利活用ケース、海外における先行ケースと協調性の確保、利用主体、無線局免許の在り方など、多角的な観点をもった議論が進められることを期待します。	頂いたご意見については、本案への賛同意見として承ります。	無
110	住友電気工業(株)	第3章 重点的取組 V V2Xの検討推進 他	ITS用周波数帯として利用されている760MHz帯は、我が国の環境や条件を踏まえて割り当てられ、「700MHz帯高度道路交通システム」については、官民協力の上V2X通信技術を用いたITS無線システムとして既に実用化され、都道府県警察による整備・運用が行われております。また現在、自動運転での活用に向けたV2Iによる交通信号情報提供の実用化検討や検証が行われているところと認識しております。さらに近年、民間による760MHz帯V2Xを用いた安全運転・自動運転支援等の取り組みが社会実装に向けて活発化しております。これらの既存システム維持・発展の方針を堅持することを前提に、最新の国際動向・技術動向等も踏まえながら検討を開始し、この検討結果を踏まえ、V2X用通信の具体的なサービス提供主体等が明らかになった上で次のステップを検討することは妥当であると考えます。	頂いたご意見については、本案への賛同意見として承ります。	無
111	ソフトバンク(株)、Wireless City Planning(株)	第3章 重点的取組 V V2Xの検討推進	自動運転等の進展に寄与するV2X用通信として国際的に検討が進められている5.9GHz帯の共用及び移行・再編等について検討を進めるとの方向性に賛同いたします。	頂いたご意見については、本案への賛同意見として承ります。	無

112	日本自動車輸入組合	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討推進	自動運転に向けたV2X用周波数の国際協調に向けた貴省の取り組みに賛同いたします。高度な自動運転機能のグローバルにシームレスな導入を進めるためには周波数共通化が最低限求められるところであり、安全な運航に向けた冗長性を確保する意味でも十分な帯域が確保されることを望みます。	頂いたご意見については、本案への賛同意見として承るとともに、今後の施策の検討の際に参考とさせていただきます。	無
113	日本自動車輸入組合	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討推進 他	V2X [5.9GHz帯] につきまして、国際協調に向けた再編に係る貴省の取組に賛同いたします。令和4年度に検討を開始するということですので、インポーターの意見を広く取り入れた検討が進められることを望みます。	頂いたご意見については、本案への賛同意見として承るとともに、今後の施策の検討の際に参考とさせていただきます。	無
114	楽天モバイル(株)	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討推進	5.9GHz帯について、諸外国においてもITS用に割当てられている周波数帯であり、「既存無線システムの移行等により必要な周波数帯域幅を確保した上で、令和5年度中を目処にV2X用通信への周波数割当てを行う。」との原案に賛同します。周波数が逼迫する中、今後も様々な無線システムに用いる需要が増すものと考えられますので、V2X用通信に割当てられる周波数帯に関しては、国際的な調和を図り、限りある周波数を効率的に利用していく必要があると考えます。	頂いたご意見については、本案への賛同意見として承ります。	無
C-V2X等に関するご意見					
115	クアルコムジャパン(同)	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討推進	5.9GHzは、世界的にはITSに割り当てられていることは周知の事実となっております。戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)がまとめたユースケースにもあるように、高度化したITSではより多くの周波数帯域が必要となります。クアルコムとしては、V2Xをサポートする直接通信を実現するため、日本の5.9GHz再編に向けた総務省の強いリーダーシップを期待しております。V2Xの技術としては弊社は引き続きC-V2Xを推奨いたします。米国においては、Ford、Audi、JLR、並びにテキサス州、オハイオ州、ニューヨーク市などを含む複数の州運輸省、9つのハードウェアサプライヤがC-V2Xを5.9GHzの最終的な制度化完了を待たずに展開するためのWaiverを要求しており、多様な業界からの非常に強いサポートが示されている状況です。また今年の8月に連邦運輸省が主催したV2X Summitにおいては、政府高官がC-V2Xを強くサポートし、V2X展開計画を作成していくことを公式に表明いたしました。連邦通信委員会がWaiverを認めれば2022年の秋からでもC-V2Xを搭載した車両が広く米国で展開されることが期待されております。我が国における周波数再編アクションプランは、5.9GHzで利用する技術の選定については対象としていないと理解しておりますが、5.9GHzの利用に向けた技術条件の策定においてはC-V2Xを考慮していただきたいと考えます。	頂いたご意見については、今後の施策の検討の際に参考とさせていただきます。	無
116	5G Automotive Association	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討推進	5G Automotive Association (5GAA) は、周波数再編アクションプラン(令和4年度改訂版)に対してコメントを提出させていただきます。5GAAとしましては、V2Xサービス実現のための5.9GHzの割り当てに向けた総務省様の具体的な方策を引き続き強く支持いたします。これまでの周波数再編アクションプランに対してコメントしてまいりました	頂いたご意見については、本案への賛同意見として承ります。C-V2Xに関するご意見については、今後の施策の検討の際に参考とさせていただきます。	無

		<p>ように、5.9 GHz 帯は、世界的に唯一の Intelligent Transportation System (ITS) のハーモナイズドスペクトラムとして考えられており、70MHz 程度の ITS スペクトラムが多く地域で割り当てられている状況です。5.9GHz を ITS に利用することは、世界の他国とも方向性が合致しますので 5GAA としては重ねて総務省様のプランを支持するものです。5.9GHz の割り当てが、より多くの安全運転支援や運転の効率化へ寄与するアプリケーションの導入につながることを期待いたします。</p> <p>今回の周波数再編アクションプランでは、30 MHz 幅が次世代モビリティシステムへの割り当て目標として記載されています。5GAA としましては、重要な高度化サービスをサポートするためにはより多くの周波数が必要と考えております。5GAA は合計 70 MHz の帯域が確保できるよう、総務省様が継続的な検討を行っていくことを希望します。</p> <p>5.9 GHz で利用する技術の選定については対象としていないと理解しておりますが、5GAA としましては、5.9GHz の利用に向けた周波数共用検討において C-V2X を考慮していただきたいと考えます。C-V2X は、ITS サービスの長年にわたる開発に配慮するとともに、最近のセルラー業界における LTE および 5G の新技術の発展を活用しております。C-V2X は安全運転支援、モビリティ、環境保護を日本に提供するとともに、コネクティッド・自動運転に関する技術において日本のリーダーシップを容易にするための明らかな道筋を提供すると考えます。</p> <p>C-V2X は世界においても勢いを増してきております。米国においては、広く業界からのサポートがあり、Ford、Audi、JLR、並びにテキサス州、オハイオ州、ニューヨーク市などを含む複数の州運輸省、9 つのハードウェアサプライヤが C-V2X を 5.9 GHz の最終的な制度化完了を待たずに展開するために Waiver 要求しております。また今年の 8 月に連邦運輸省が主催 V2X Summit においては、政府高官が C-V2X を強くサポートし、V2X 展開計画を作成していくことを公式に表明いたしました。訴訟となっていた連邦通信委員会の 5.9 GHz の制度改正案についても、連邦通信委員会の方向性を DC 控訴裁判所が支持する裁定を下しましたので、今後の見通しは非常に明らかになっております。連邦通信委員会が Waiver を認めれば 2022 年の秋からでも C-V2X を搭載した車両が広く展開されることが期待されております。</p> <p>日本では、6 GHz 帯 (5925~6425 MHz) が無線 LAN へ割り当てられました。ITS 向けに検討されている 5.9GHz 帯は、この 6GHz 帯の隣接帯域となります。5GAA は 6GHz 無線 LAN の技術的条件答申の中に、VLP の運用は 6000MHz 以上を優先して利用することが望ましいと記載されていると認識しております。しかしながら、推奨であるため無線設備規則等には反映されていない状況です。5GAA としましては、日本の無線 LAN 業界が将来割り当てが予想される 5.9GHz 帯域に有害な干渉を与えないようにするために、この優先付けが VLP 機器に実装されるよう適切な対応をとることを希望いたします。</p>	<p>6 GHz 帯 (5925~6425 MHz) における VLP モードの周波数チャンネルの使用順位については、推奨事項のため省令には規定せず、メーカー等による業界ルールとされることが適当と考えます。</p>	
--	--	--	---	--

既存の ITS 用周波数帯（760MHz 帯等）を勘案した検討が必要等のご意見					
117	ITS Connect 推進協議会	第 3 章 重点的取組 V V 2 X の検討 推進	ITS Connect 推進協議会は、ITS 専用周波数帯（760MHz 帯等）を活用した安全運転支援システム「ITS Connect」の実用化及び普及を促進する団体として、安心・安全な交通社会を実現することを目指しております。 当該システムは、車と車、および路側機器と車の間で通信を行い、事故防止につながる情報を提供するサービスとして 2015 年 10 月より実用化され、既に多くの利用者がおり、今後も更なる利用者の増加を見込んでいます。 当該システムで送受信されている各種情報には、自動運転システムに必要なデータ項目が含まれております。 内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「自動運転」における協調型自動運転通信方式検討 TF 活動報告(2022.3)においては“想定される通信方式”として、『700MHz 帯 ITS』、つまり ITS Connect あるいはそれをベースとした通信方式が継続使用される前提とされております。 既存の ITS Connect の他に新たな周波数帯へ V2X システムが割り当てられる場合には、それぞれのユースケースや利用目的に即したものであるべきと考えます。	自動運転の実現等に向けては、これまでの内閣府 SIP の検討等を踏まえ、760MHz 帯や 5.8GHz 帯などの既存 ITS 無線と 5.9GHz 帯 V2X 等との連携・調整を考慮しながら検討を進めてまいります。 その他の頂いたご意見については、今後の施策の検討の際に参考とさせていただきます。	無
118	京セラ（株）	第 3 章 重点的取組 V V 2 X の検討 推進 他	既存の ITS 用周波数帯（760MHz 帯等）に加えて、国際的に検討が進められている周波数帯（5.9GHz 帯）に V2X 用通信を導入する検討を進めることに賛同いたします。 しかしながら、5.9GHz 帯への V2X 導入にあたっては、既存の ITS 用周波数帯（760MHz 帯等）の特性を考慮した使い分けを行うことが望ましいと考えます。特にセルラー系の技術進化サイクルと、クルマのライフサイクルが異なるため、基本的な安全にかかわるユースケースは既存の ITS 用周波数帯にて継続使用することが望ましいと考えます。また、5.9GHz 帯への V2X 導入にあたっては、「一部の既存無線システムとの周波数共用不可等の検討結果」もあり、「既存無線システムの移行等に必要な周波数帯域幅の確保」や移行費用等を鑑みると、5.9GHz 帯を使用する「V2X 用通信の具体的なサービス提供主体等」を明らかにすることが、まず必要と考えます。	頂いた前段のご意見については、本案への賛同意見として承ります。 後段のご意見については、今後の施策の検討の際に参考とさせていただきます。	無
119	KDDI（株）	第 3 章 重点的取組 V V 2 X の検討 推進 他	既存の ITS 用周波数である 760MHz 帯に対して、国際的に検討が進められている 5.9GHz 帯は周波数帯域幅等の違いがあることから、760MHz 帯とは異なる通信用途に対応する可能性があると考えられます。そのため、周波数の利用方策の検討にあっては、5.9GHz 帯を活用するユースケースについて業界関係者との十分な協議がなされ、既存無線システムとの周波数共用に関する方針やサービス提供主体といった課題の整理が必要であると考えます。 また、通信方式や割当て帯域幅については、諸外国の状況を踏まえた検討がなされるべきと考えます。	自動運転の実現等に向けては、これまでの内閣府 SIP の検討等を踏まえ、760MHz 帯や 5.8GHz 帯などの既存 ITS 無線と 5.9GHz 帯 V2X 等との連携・調整を考慮しながら検討を進めてまいります。 その他の頂いたご意見については、今後の施策の検討の際に参考とさせていただきます。	無

120	(株)デンソー	第3章 重点的取組 V V 2 Xの検討 推進 他	自動運転含む次世代モビリティシステムに対し、周波数帯が整備されることは重要と考えます。一方で、我が国では既に5.8GHz帯(ETC、ETC2.0)、760MHz帯(ITS Connect)で各種ITSサービスが実用化されており、多くのユーザに利用されています。新たに周波数帯が割当てられる際には、これら既存の無線システムへの電波干渉(帯域外漏洩電力による干渉を含む)の影響や既存サービスとの関係性等を十分検討・配慮した上でなされるべきと考えます。現在利用しているユーザへのサービス継続性の担保や新たなインフラ整備およびサービス運用体制構築期間等を考慮した新システム導入に向けた中長期計画の策定と、ITSに関わるステークホルダーの合意形成が必要と思われます。既存の無線システムと新たに割当てられる周波数帯とを、総合的に有効活用する方法についての検討・議論が進められることを希望いたします。特に760MHz帯のITS Connectにつきましても、更なる活用を図り普及が進むことで、一般の車両のみでなく自動運転車両に対しても、交通の安全性や円滑性をより向上させる可能性があると考えます。	自動運転の実現等に向けては、これまでの内閣府 SIP の検討等を踏まえ、760MHz帯や5.8GHz帯などの既存ITS無線と5.9GHz帯V2X等との連携・調整を考慮しながら検討を進めてまいります。その他の頂いたご意見については、今後の施策の検討の際に参考とさせていただきます。	無
121	トヨタ自動車(株)	第3章 重点的取組 V V 2 Xの検討 推進 他	日本では5.8GHz帯DSRCを用いたETC・ETC2.0車載器が、この20年間で1億台を超えて出荷され、道路交通には必要不可欠な社会基盤となっています。「一部の既存無線システムとの周波数共用不可等の検討結果」とありますとおり、同一周波数帯での共用だけでなく、5.8GHz帯を利用しているETC等への与干渉や、他の無線システムからの被干渉等、社会基盤の実利用環境/動作に影響が出ないように検討をお願いします。「最新の国際動向・技術動向等も踏まえながら」とあります。欧米中等の規格では、ほぼ同一の周波数帯が割り当てられているものの、通信方式、送信電力、チャンネル用途割当等は異なっているのが実情であるため、我が国の状況を踏まえた検討をすべきと考えます。「自動運転システム(安全運転支援を含む。)の進展・重要性を踏まえ、既存のITS用周波数帯(760MHz帯等)に加えて」とあります。760MHz帯にて既に実用化されている安全運転支援サービス(ITS Connect)の信号情報や物標情報等をブロードキャストする通信方式は、自動運転支援システムへの応用検討が内閣府SIP等で進められております。新たな周波数帯を検討する場合には、電波有効利用の観点から用途を明確にしたのちに、その用途に適切な周波数帯を検討すべきと考えます。	自動運転の実現等に向けては、これまでの内閣府 SIP の検討等を踏まえ、760MHz帯や5.8GHz帯などの既存ITS無線と5.9GHz帯V2X等との連携・調整を考慮しながら検討を進めてまいります。その他の頂いたご意見については、今後の施策の検討の際に参考とさせていただきます。	無
既存無線システムとの共用に関するご意見					
122	関西テレビ放送(株)	第3章 重点的取組 V V 2 Xの検討 推進 他	5.9GHz帯の既存無線システムである放送事業用BバンドFPUは、電波特性上、他バンドに比べフィールドからの回線確立が容易なため、災害報道を中心とした素材伝送用回線として、非常に重要な役割を担っています。5.9GHz帯で使用している固定局及びFPUは地上デジタル放送事業に必要な無線システムであり、今後も支障なく運用できることが重要です。放送事業用固定局、FPUの周波数を仮に移行することになった場合、移行先周波数の調整、送受信機の納期、移行に係る費用負担など、課題は山積して	頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。	無

			<p>います。 令和5年度中を目処にV2X用周波数割り当てを行うというスケジュールに固執することなく、十分な審議を行っていただきたいと考えます。</p>		
123	札幌テレビ放送(株)	第3章 重点的取組 V V 2 Xの検討 推進 他	<p>5.9GHz帯にV2X用通信を導入する場合の周波数利用方策等の検討を開始するにあたり、①同周波数帯の既存無線システムに配慮する、②一部無線システムとの周波数共用不可等の検討結果等を踏まえる――と明記したことは適切と考えます。</p> <p>5.9GHz帯も6GHz帯と同様に、放送番組伝送を行う固定局が24時間365日稼働し、基幹放送局と一体的に運用し、また素材伝送用のFPUについても日常的に報道取材や番組制作での運用を行っています。今後も、固定局およびFPUによる業務を支障なく継続できることが必要不可欠なため、慎重かつ丁寧な検討を行っていただくよう、あらためて強く要望します。</p>	<p>頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。</p>	無
124	(株)TBSテレビ	第3章 重点的取組 V V 2 Xの検討 推進 他	<p>5.9GHz帯の放送事業用無線システムも6GHz帯と同様に常時運用されており、放送に直結した重要なシステムです。災害時には国民の安心安全を守る大切な手段となるため、周波数調整による共用は困難です。他方V2Xに関しても、車など人命を預かるシステムのため、共用によって干渉が許されるシステムではありません。</p> <p>令和3年8月31日に公表された「デジタル変革時代の電波政策懇談会報告書」及び意見募集の結果において「5GHz帯でさらなる帯域を必要とするサービスのニーズやサービス要件に関して、自動車業界からは明確な要求を出していない。」との意見提出もされており、ユーザーニーズに関しても検討の余地があるように思います。</p> <p>両者の共用は、これまでの技術検討により困難であると示されています。先ずはニーズの確認が必要ですが、仮に既存無線を移行とするなら業務継続の担保が必要です。両システムの運用に十分配慮し、慎重な審議を行っていただきたいと考えます。</p>	<p>頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。</p>	無
125	(株)テレビ朝日	第3章 重点的取組 V V 2 Xの検討 推進 他	<p>自動運転システムに向けた取組として、V2X用に既存無線システムの移行等により必要な周波数帯域幅を確保した上で、令和5年度中を目処にV2X用通信への5.9GHz帯の周波数割り当てを行うことが示されています。</p> <p>5.9GHz帯では放送本線の伝送を行う放送番組中継用の固定局が運用されています。これは災害等の地域情報を視聴者にリアルタイムにお届けし、生活の安心安全や生命財産を守るという、極めて重要な公共的役割を担っています。</p> <p>周波数移行はこれまで「終了促進措置」のスキームで行われてきましたが、V2Xのサービス主体事業者が不明確な現状では、周波数移行に必要な費用の負担先が明らかではありません。既存無線システム側に負担や影響が及ぶことが無いように、慎重かつ丁寧に進めるよう、強く要望します。</p>	<p>頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。</p>	無

126	テレビ大阪(株)	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討 推進 他	当該周波数帯は、全国の放送事業者が固定局、FPUをはじめとする無線局において、特に多用しております。既存の無線局への影響は業務の継続に直結するため、周波数の移行等、拙速な展開とならないよう、丁寧な検討を強く要望します。	頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。	無
127	(株)テレビ東京	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討 推進 他	5.9GHz帯も6GHz帯と同様に、弊社を含む全国の放送事業者が多くの無線局を番組伝送等に日々運用を行っています。放送事業者にとっては、固定局およびFPUによる業務を今後も支障なく継続できることが必要不可欠です。5.9GHz帯におけるV2Xシステムの検討については、利用ニーズと運用主体の明確化がまず必要と考えます。それが明確になる前に、既存無線システムの移行や、周波数割当ての時期に言及するのは時期尚早と考えます。そのうえで、既存システムの周波数移行に言及するのであれば、移行先周波数の確保により現行業務の継続を担保し、移行に伴う費用や業務負担の問題解決をセットで提示するべきと考えます。これらを踏まえて、引き続き慎重かつ丁寧な検討を行うよう強く要望します。	頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。	無
128	(株)テレビユー山形	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討 推進 他	「同周波数帯の既存無線システムに配慮」及び「一部の既存無線システムとの周波数共用不可等の検討結果」を踏まえて検討を開始すると記載されたことは、一定程度評価できます。但し、5.9GHz帯も放送事業者が放送の為に固定回線として、また、FPUによる素材伝送回線として使用しており、慎重かつ丁寧な検討を行っていただくとともに、仮に移行が必要となったときはその移行費用や業務の負担等を十分に考慮する必要があると考えます。万が一にも結論ありきとならない様に検討していただきたいと考えます。	頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。	無
129	東京メトロポリタンテレビジョン(株)	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討 推進	現在当社では、鳥しょ地域に開設した中継局において、番組中継回線として5.9GHz帯を利用したTTL(Transmitter to Transmitter Link)回線を運用している。これは当社が東京都を放送対象地域とする地上基幹放送局として、都民の財産生命に関わる情報を伝達する使命を果たすために重要かつ必要不可欠な無線局であり、この周波数帯の再編は当社の放送の継続に直接的な影響を及ぼす懸念がある。 また番組制作及び報道取材等の素材伝送等のために放送事業用の携帯局を開設し、FPU(Field Pickup Unit)としても同周波数帯を運用している。これは日常の番組制作はもとより、非常時の報道取材等における素材伝送手段としても欠かせないものであり、移動先において即時に継続的な運用が必要となるものである。 よって、その重要性・必要性の観点から、この5.9GHz帯において放送事業用として使用している周波数帯を他の無線局等と共用することについては慎重な検討が必要であると考えます。一方、自動運転等の実現は重要な社会課題であるとも認識しており、その通信技術の導入については他の周波数帯の利用検討を希望する。	頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。 なお、ITS用途の周波数については、ITU-R 勧告 208 を踏まえ、各国において、5.9GHz帯をはじめとする周波数ハーモナイズを進めることとされており、これを受けて検討しているものです。	無

130	日本放送協会	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討推進	放送は、災害や国民的な関心事に関して信頼できる情報を広く国民に対し瞬時に伝達し、国民の生命・財産を守るという高い公共性を持っています。 5.9GHz 帯では、テレビ放送用中継回線など全国で 150 回線以上使用しており、非常に重要な回線として、高い回線信頼度が求められています。V2X 用通信における具体的な周波数の利用方を精査し、必要な周波数帯域幅を明確にした上で、周波数の移行を行う場合には、移行期限や費用負担などについて、関係者間で十分協議した上で既存事業者に不利益とならないような制度整備が行われるよう求めます。	頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。	無
131	日本テレビ放送網(株)	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討推進	5.9GHz 帯に V2X 用通信を導入する場合の周波数利用方策等の検討を開始するにあたり、①同周波数帯の既存無線システムに配慮する、②一部無線システムとの周波数共用不可等の検討結果等を踏まえる一と明記したことは適切と考えます。 同帯域も 6GHz 帯と同様、我々放送事業者が番組中継用固定局および素材伝送用 FPU で日常的に使用している重要な帯域です。周波数共用は困難との技術検討結果を踏まえ、V2X 用通信の導入についてはスケジュールに固執することなく、また万が一にも結論ありきとならないよう、慎重かつ丁寧な検討を行っていただくよう、あらためて強く要望します。 また、仮に既存無線システムの移行を実施する場合、移行先周波数の確保と業務継続の担保が必要であり、移行に伴う費用や業務負担の問題を解決する必要があります。引き続き、我々放送事業者の意見を十分に聴取し、既存無線システム側に過度の制約や負担が生じることがないよう、慎重かつ丁寧な検討を行うことを強く要望します。	頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。	無
132	(一社)日本民間放送連盟 他	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討推進 他	5.9GHz 帯に V 2 X 用通信を導入する場合の周波数利用方策等の検討を開始するにあたり、①同周波数帯の既存無線システムに配慮する、②一部無線システムとの周波数共用不可等の検討結果等を踏まえる一と明記したことは適切と考えます。 周波数共用は困難との技術検討結果を踏まえ、V 2 X 用通信の導入についてはスケジュールに固執することなく、また万が一にも結論ありきとならないよう、慎重かつ丁寧な検討を行っていただくよう、あらためて強く要望します。 5.9GHz 帯も 6 GHz 帯と同様に、放送事業者は放送本線の伝送を行う番組中継用の固定局を 24 時間 365 日、基幹放送局と一体的に運用しています。また素材伝送用の F P U を運用し、日常的に報道取材や番組制作を行っています。放送事業者にとっては、固定局および F P U による業務を今後も支障なく継続できることが必要不可欠です。 V 2 X 用通信の具体的なサービス提供主体等が明らかになっていない段階で、既存無線システムの移行や、周波数割当ての時期に言及するのは時期尚早と考えます。 言うまでもなく、仮に既存無線システムの移行を実施する場合、移行先周波数の確保と業務継続の担保が必要であり、移行に伴う費用や業務負担の問題	頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。	無

			を解決する必要があります。引き続き、放送事業者の意見を十分に聴取し、既存無線システム側に過度の制約や負担が生じることがないように、慎重かつ丁寧な検討を行うべきと考えます。		
133	(株)毎日放送	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討 推進 他	<p>本周波数帯では、当社を含む多くの放送事業者が、放送ネットワークを構成する番組伝送用の固定局の運用を行っている。これらは地上デジタル放送を放送区域内の隅々まで届けるために重要な役割を担う、電波の有効利用度が極めて高い無線システムである。</p> <p>このような性質を持つ本無線システムは、「我が国の健全な民主主義の発達に資することとともに豊かな放送文化の創造に寄与すること」、「地域に密着した情報発信に努めること」等の要請に応えるべく1年365日ほぼ休みなく運用している。周波数共用・再編などの方針の検討においては、既存免許人の放送事業運営に制約・支障が生じて、地域住民及び既存免許人である各放送事業者に不利益や過大な負担・損失を強いることのないよう改めて強く要望する。</p> <p>今回の方針案にも「同周波数帯へV2X用通信を導入することとなる場合には、既存無線システムの移行等により必要な周波数帯域幅を確保した上で・・・」との、昨年度と同様の記載がある。本無線システムは、上記のとおり重要な役割を果たすために必要な電波伝搬特性を有するこの周波数帯にて運用されていること及び自動運転システムに関しては、昨年度の意見公表で「既存のITS 周波数帯で実現可能であり、電波の有効利用の観点から新たな割当てはすべきでない」との意見が割当てを受けようとする業界内の社から寄せられていたことから、検討にあたっては“既存無線システムの移行”という結論ありきの議論とならないよう、慎重かつ丁寧に行われることを希望する。</p>	頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。	無
134	山口放送(株)	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討 推進 他	5.9GHz帯も6GHz帯と同様に、放送事業者の放送本線伝送を行う固定局(24時間365日運用)を基幹放送局と一体的に運用しています。また素材伝送用FPUは日常的に報道・制作番組で活用しており、放送事業者にとっては今後も支障なく運用できることが必要不可欠です。よって、引き続き放送事業者の意見を十分に聴取し、慎重な検討を要望いたします。	頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。	無
135	讀賣テレビ放送(株)	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討 推進 他	自動運転システムの進展を考えますと、5.9GHz帯へV 2 X用通信の割り当てを検討することは理解できます。ただし今後の周波数行政への影響を考えますと、もし既存無線システムに対して移行措置を選択する際には、移行先の周波数帯域幅の確保に加え、費用負担に関しても既存免許人に対する十分な配慮をすることが必要であると考えます。	頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。	無
136	中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)、東日本高	第3章 重点的取組 V V 2 X の検討 推進 他	高速道路本線上および料金所においてETCおよびETC 2.0サービスシステムを運用しております。これら既存無線システムは5.8GHz帯にて運用を行っておりますが、国際的に検討が進められている5.9GHz帯と近接した周波数帯である為、イメージ干渉等の影響が想定される。本件の技術的条件の検討およびV2X用通信への周波数割り当てを行う際には当該既存無線システムへの影響を与えないよう十分な検討とご配慮いただきたい。	頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。	無

	速道路 (株)				
137	ITS情報通信システム推進会議	第3章 重点的取組 V V 2 Xの検討 推進 他	<p>次世代モビリティのひとつとして期待される自動運転を実現・支援する V2X には新たな周波数帯の割当てが必須であり、欧州/米国/中国などでは既に 5.9GHz 帯への V2X の周波数割当てが進んでいます。国際的に調和を取りつつ、我が国がこの分野における競争力を確保するために、5.9GHz 帯における V2X 用通信の導入に関わる検討が進むことを期待します。</p> <p>なお検討にあたっては、5.9GHz に隣接する 5.8GHz 帯で利用されている ETC や ETC2.0 のサービスに影響を与えないように、十分な検討と配慮をお願いします。また屋外利用が進んでいる 5.6GHz 帯の無線 LAN (Wi-Fi) からの与干渉が自動運転システムとして許容できるレベル以下となるよう十分な検討をお願いします。</p> <p>ITS 情報通信システム推進会議では、既存の ITS 用周波数帯 (760MHz 帯等) に加えて、自動運转向けの新たな周波数帯も視野に入れた自動運转向け無線通信の方式検討を進めてきており、以下の資料を策定・公開しております。これらは総務省殿および SIP-adus との連携による技術検討成果であり、本取組みへ生かす機会があれば、是非貢献したく考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自動運転(自専道)通信活用ユースケース向け通信システムの実験用ガイドライン ITS FORUM RC-015 1.0 版」 ・「セルラー通信技術を用いた ITS・自動運転の高度化に向けた課題調査報告書」 ・「SIP 協調型自動運転ユースケースに関する通信シナリオ/通信要件の検討資料 ITS FORUM RC-017 1.0 版」 ・「自動運転通信活用ユースケース向け 700MHz 帯高度道路交通システムの実験用ガイドライン ~SIP ユースケース対応~ ITS FORUM RC-018 1.0 版」 	<p>頂いたご指摘も踏まえ、既存無線システムの運用に配慮し、慎重かつ丁寧な検討を進めてまいります。</p> <p>その他の頂いたご意見については、今後の施策の検討の際に参考とさせていただきます。</p>	無

ご意見の提出時に記載された意見対象箇所によらず、重点的取組の各項目に関連するものは、当該項目関連として分類しています。また、意見対象が記載されていない場合や明確でない場合は、関連すると考えられる項目に記載しています。

頂いたご意見について一部要約し、URL や図等は省略しています。

また、頂いたご意見を分類する上で、分類後の文章において意味が繋がるよう、必要な文章調整を行っています。